

2030年 自然と共生する滋賀の将来像

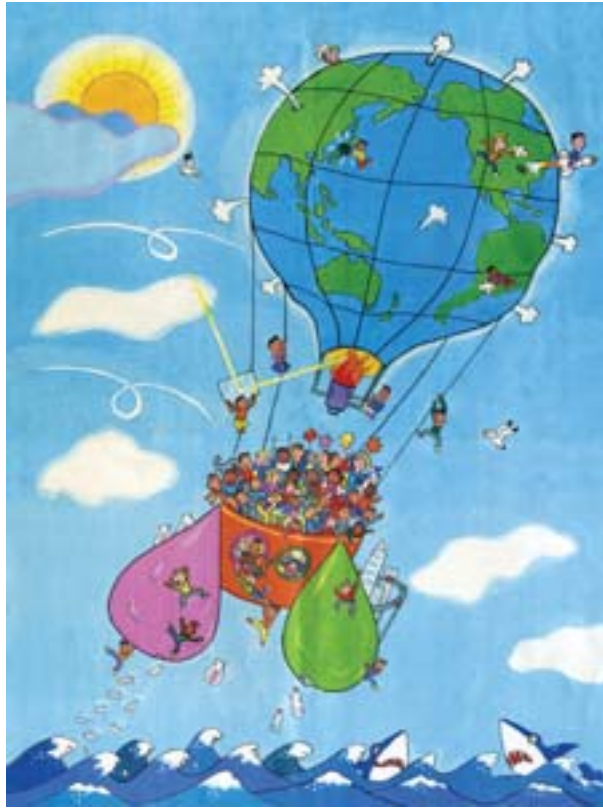
滋賀をモデルに、持続可能な社会を描く

Sustainable Shiga 2030

いま世界中が持続可能な社会の姿を模索しつつある。
マザーレイク「琵琶湖」を抱える滋賀県は、
都道府県の規模で初めて
将来の「持続可能な滋賀の社会像」を
描くための検討を進めてきた。
その社会像は、自然との共生、および
“もったいない”の心がけを基本理念として、
環境負荷を大幅に削減しながらも
新たな「豊かさ」を見出そうとするものである。

In Shiga, a prefecture in Kansai area, the prefectural government has attempted to draw a vision of the society realizing “Sustainable Shiga,” ahead of the other part of Japan. This vision is aimed at the drastic reduction of environmental load, and closely associated with new aspects of well-being based on harmony with nature and the spirit of “MOTTAINAI.”

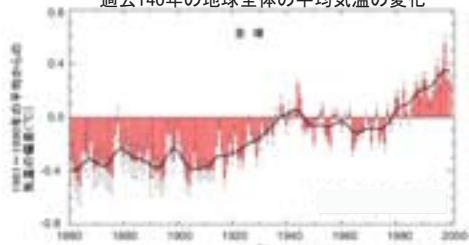
地球が危ない！
資源・環境には限りがある！
The Earth in danger!!



イラスト：加藤晃

地球の容量を大きく超えた人の数・・・
その人たちが際限なくモノを溜め込み、その重さでいまや気球地球号は
さがめが口を開けて待ちかまえる海面に落ちかけています。
そこで、空気の漏れを止めようとする人、太陽の力を借りようとする人
中には自分だけロケットで逃げ出そうとする人など努力の方向は様々です。

過去140年の地球全体の平均気温の変化



出所)IPCC第3次評価報告書第1作業部会より

持続可能な社会へ・・・

Towards a Sustainable Society

A. 高度技術型社会

Technology-oriented Type



イラスト：国立環境研究所

- 活力
- 都市型 / 個人を大切に
- 集中生産・リサイクル
(燃料電池車、原子力、核融合、
二酸化炭素、隔離・・・)
- より便利で快適な社会を目指す

B. 自然共生型社会

Harmony-with-Nature Type



イラスト：今川朱美

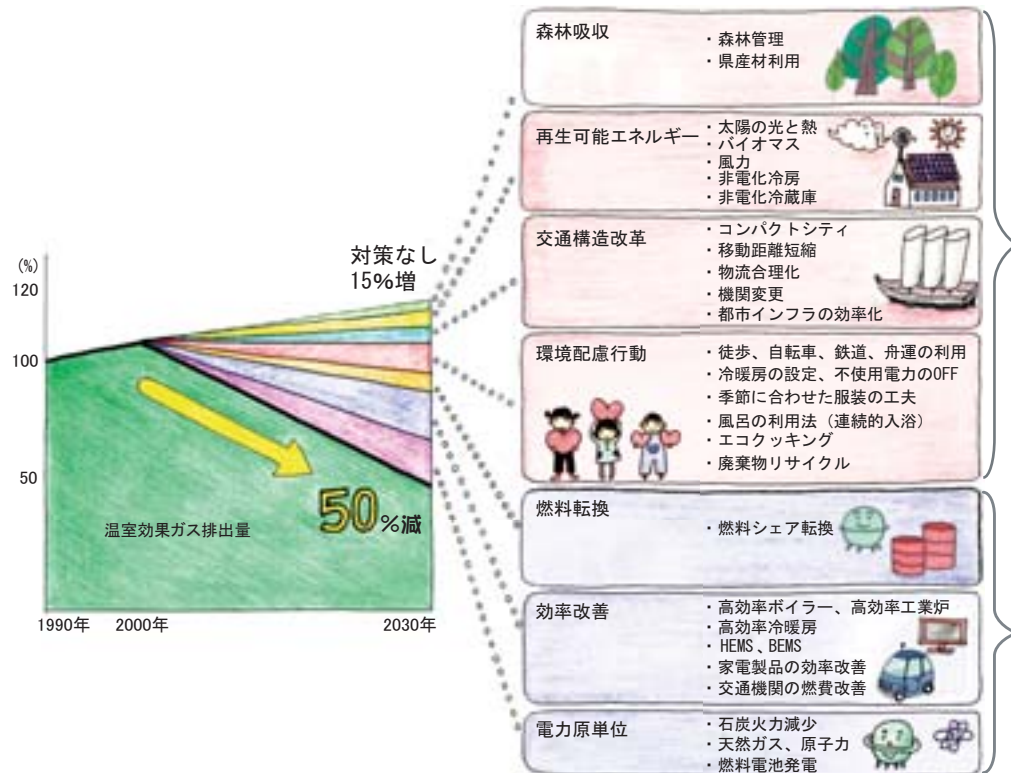
- ゆとり
- 分散・自立型 / コミュニティ重視
- 自然の生産力を高度に生かす
適正技術とライフスタイル
(小型風力発電、自転車、地産地消、共住・・・)
- 社会・文化的価値を尊ぶ

AとB、2つの社会像
どこに軸足を置くのか？
Which way will we go ?

・・・滋賀で描く持続可能な社会は？

手段の組み合わせ 社会像の選択

Combination of methods-Choice of the vision of the society



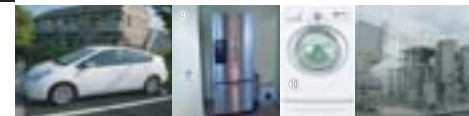
目的達成のための手段と内訳

適正技術と社会変革で… Appropriate technology



- ・ 地域で開発されるような小規模な技術
- ・ 巨額の資金や社会資本を必要としない
- ・ 自然の生産力を高度に活かす技術や
ライフスタイルと、それを可能にする
社会基盤が必要

高度技術による効率改善で… High technology



- ・ 国が先導するような大規模な先端技術
- ・ 大規模な社会資本が必要

Photograph by
 ① stock xchang
 ② Larry Page, 2007. creative commons by-2.0.
 ③ LoopZilla, 2006. creative commons by-sa-2.0.
 ④ Morgue File
 ⑤ Paul S, 2005. creative commons by-nc-sa-2.0.
 ⑥ rangrang, 2007. creative commons by-nc-nd-2.0.
 ⑦ m-louis, 2006. creative commons by-sa-2.0.
 ⑧ detsugu, 2006. creative commons by-nc-2.0.
 ⑨ cote, 2006. creative commons by-2.0.
 ⑩ coral11, 2007. creative commons by-nc-2.0.

持続可能な滋賀では
 高度な技術の進歩のみに頼るのではなく、
 人々が自ら取り組める「適正技術」と
 「新たな社会への変革」を中心に
 目標を達成する

自然共生型社会の滋賀シナリオ

Shiga's Scenario towards the Harmony-with-Nature Type Society

農業 … 農業を中心とした循環と食糧自給 Agriculture



産業 … 三方良しで新産業 Industry



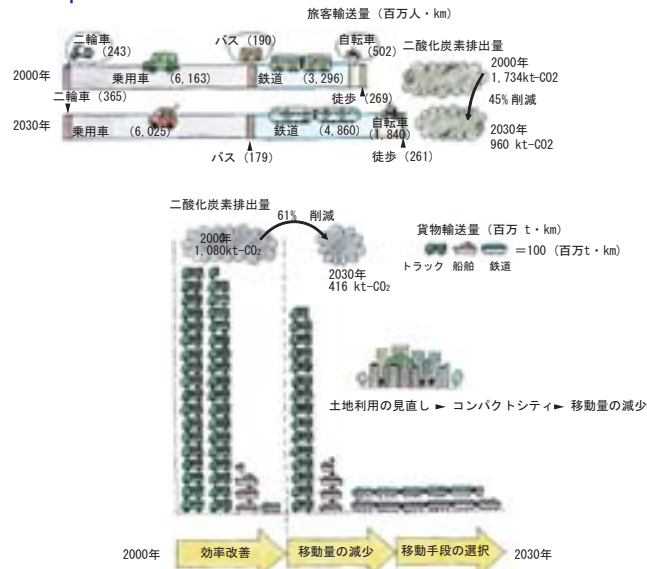
琵琶湖 … 琵琶湖の水質・湖岸生態系・近江八景の復活 Lake Biwa



堅田の落雁(安藤広重)



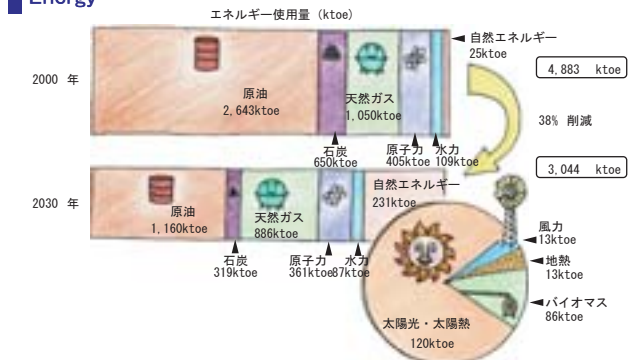
交通 … 効率改善、手段変更、移動減少 Transportation



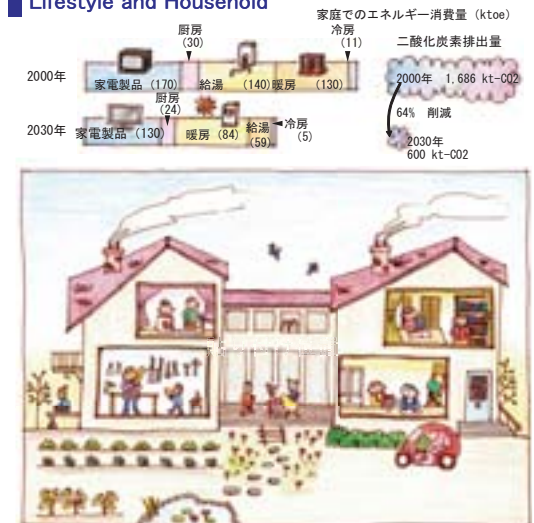
土地利用 … 集約で高効率の都市と分散で自立の農村 Land Use



エネルギー … 化石燃料から自然エネルギーへ Energy



ライフスタイル … 「物」から「心」の豊かさへ Lifestyle and Household



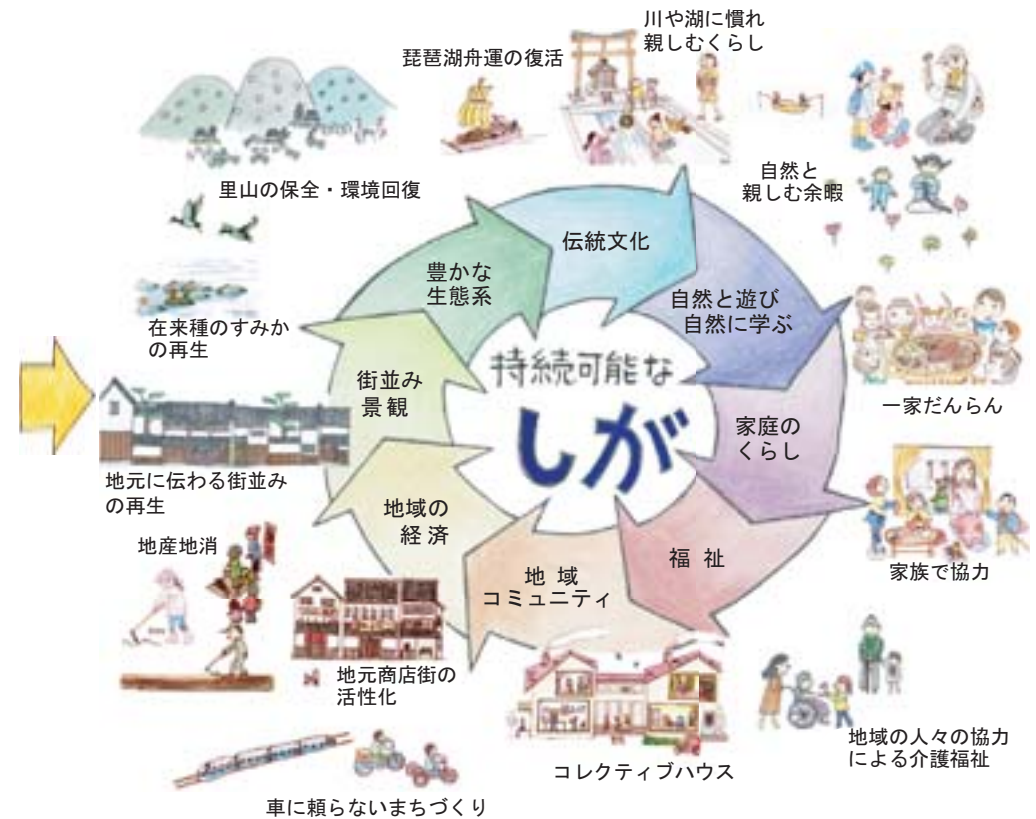
持続可能な滋賀と「豊かな社会」

Well-being in Sustainable Shiga

持続可能な滋賀は、毎日の生活とそれを支える基盤、両者を支える経済・制度、そして根底にある我々の価値観がすべてつながった『心の豊かな社会』へ……



将来のイメージは…？
 2030年の滋賀
 Sustainable Shiga 2030



人と自然の豊かさ、社会の豊かさが
 未来につながる滋賀

持続可能社会の実現に向けた滋賀シナリオ (これまでの取り組み)

Shiga's Scenario Towards the Realization of a Sustainable society

バックキャストिंगの考え方を採用し、2030年を目標年に、
「有限の 資源・環境の制約を満たす」
滋賀の社会像(スナップショット)を描写する。

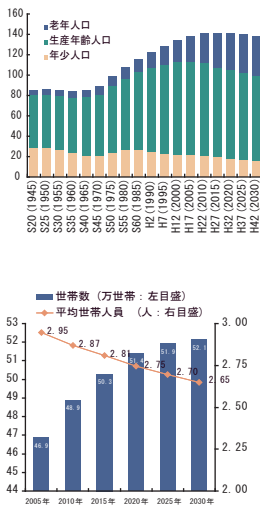


■ 滋賀における2030年の環境数値目標

- ◎ 脱温暖化の実現 ----- 温室効果ガス排出量を半減
- ◎ 琵琶湖環境の復活 ----- 水質保全のための 汚濁物質流入負荷量の半減
----- 景観保全のための 美しい湖辺域の倍増
----- 湖岸生態系再生のための ヨシ群落面積の倍増
- ◎ 循環システムの構築 ----- 廃棄物最終処分量75%減

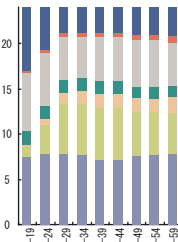
■ 滋賀における2030年の社会経済活動量の想定

人口：少子高齢化が進む

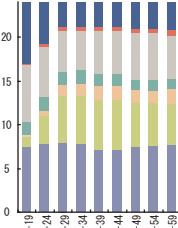


世帯：47万世帯→52万世帯に

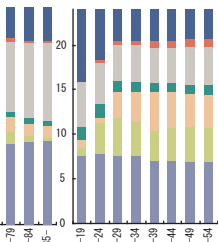
2000年 男性



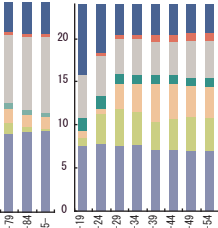
2030年 男性



2000年 女性

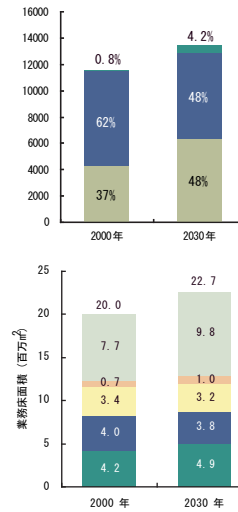


2030年 女性



生活時間：男性の仕事時間減・家事の時間増
女性の仕事時間増・家事の時間減
余暇時間・地域活動の時間が増える

産業：1次、3次産業が拡大



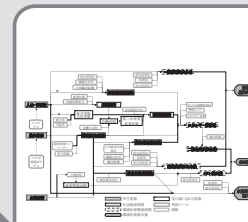
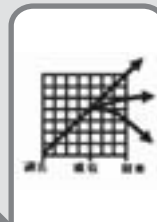
業務：高齢化で病院増
少子化で学校減

将来の目標社会 「有限の資源・環境の制約を満たす」

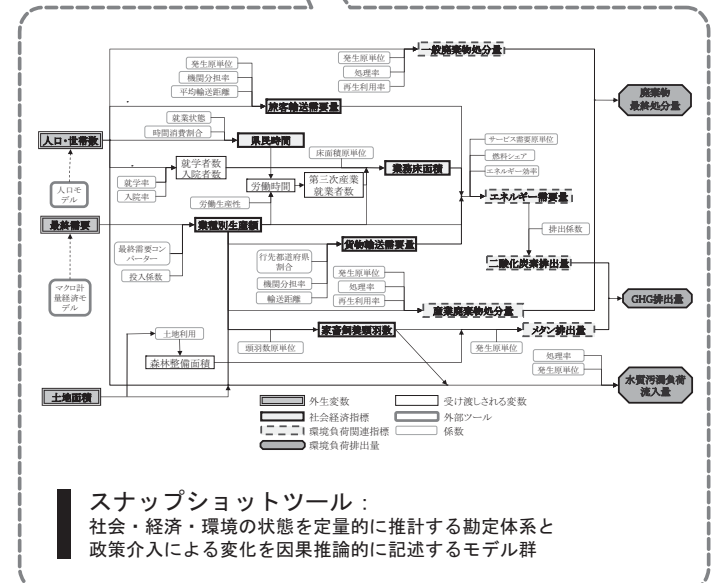
必要な対策

スナップショットツール(モデル群)

環境数値目標



- 2030年までに・・・
- 脱温暖化の実現
・ GHG排出量半減
 - 琵琶湖環境の復活
・ 流入負荷量半減
・ 美しい湖辺域倍増
・ ヨシ面積倍増
 - 循環システムの構築
・ 廃棄物最終処分量
75%減





滋賀をモデルに、持続可能な社会を描く
－2030年 自然と共生する滋賀の将来像－

2008年1月 発行

問い合わせ：
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 総合解析室
〒520-0022 大津市柳が崎5-34
TEL：077-526-4802 <http://www.lberi.jp/>

イラスト：今川朱美